

# 生育診断ほ調査結果と今後の管理

令和8(2026)年6月4日

那須農業振興事務所

- **必要茎数が確保され次第、間断かん水を開始する**
- 管内北部：前年より草丈は短く、茎数はやや多い  
葉齢、葉色は前年並み
- 管内南部：前年より草丈は短く、茎数は前年並み  
葉齢は前年よりやや多く、葉色は濃い

## 1 現在の生育状況

水稲生育診断ほ調査結果(調査日：5/25、品種：コシヒカリ、施肥：全量基肥)

調査地点	移植日	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉齢	葉色 (葉色板)	生育診断値 (葉色×茎数)
北部 (那須町寺子丙)	5/10	20.7	89	4.7	2.9	257
		69%	106%	-0.3	-0.1	90%
南部 (那須塩原市一区町)	5/2	28.8	232	6.2	4.9	1124
		87%	104%	+0.5	+1.4	143%

※下段は前年比及び前年差

- ・草丈：北部は前年よりかなり短く、南部は前年より短い
- ・茎数：北部は前年よりやや多く、南部は前年並み
- ・葉齢：北部は前年-0.3枚、南部は前年+0.5枚
- ・葉色：北部は前年-0.1、南部は前年+1.4

## 2 今後の管理

茎数を確保するために、移植後1ヶ月程度は日中に水田内に浅く水を溜めて管理しましょう。その後の管理は、かん水と落水をくり返す「間断かん水」が基本です。

必要茎数(目安：15~20本/株)が確保されたら、間断かん水を開始しましょう。

※ただし、除草剤散布後1週間は落水、かけ流しはしないよう注意しましょう

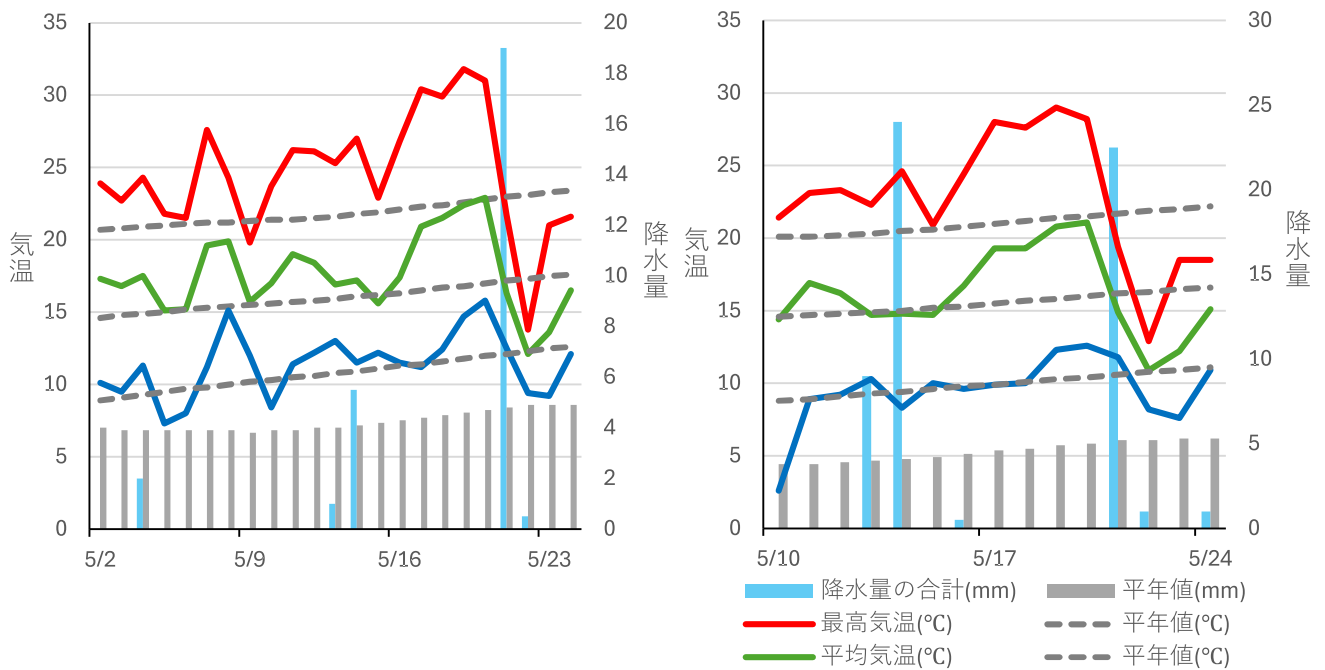
### ○間断かん水のメリット

- ①無駄な分けつの発生を抑制
- ②水田からのメタン発生を抑制
- ③土中に酸素が供給→根の活力の維持
- ④倒伏しにくくなる



図 必要茎数が確保された水稲の様子

### 3 気象データ（左：大田原アメダス 右：黒磯アメダス）



5月の気温は、概ね平年、前年より高く推移しました。また、降水量は前年よりかなり少ない傾向でした。

### (参考) 今後の気象（関東甲信越地方1か月予報、5/28 気象庁発表）

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	関東甲信越地方	向こう1か月 05/30~06/29	10 (Low)   30 (Normal)   60 (High)
		1週目 05/30~06/05	10 (Low)   10 (Normal)   80 (High)
		2週目 06/06~06/12	20 (Low)   40 (Normal)   40 (High)
		3~4週目 06/13~06/26	10 (Low)   30 (Normal)   60 (High)
降水量	関東甲信越地方	向こう1か月 05/30~06/29	20 (Low)   40 (Normal)   40 (High)
日照時間	関東甲信越地方	向こう1か月 05/30~06/29	30 (Low)   30 (Normal)   40 (High)

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

#### 向こう1か月の気象予報

- ・ 気温：高い確率 60%
- ・ 降水量：前年並みの確率、多い確率ともに 40%
- ・ 日照時間：多い確率 40%

4月～6月は「春の農作業安全確認運動」の実施期間です。

乗用型トラクターの事故が最も多く発生しています！以下のことを心がけましょう。



- ・ 安全キャブ・フレームのある機種を使用する
- ・ シートベルトとヘルメットを着用する
- ・ ほ場を出る際は、ブレーキの連結ロックを確認する
- ・ 日没前の作業終了と、一般道走行に備え反射材を装着、点検する